

放 監 第 5 2 号
平成30年3月20日

茨城県東海地区環境放射線監視委員会
評価部会専門員 各位

茨城県東海地区環境放射線監視委員会事務局
(茨城県原子力安全対策課)

監視委員会評価部会報告書181報
(平成29年度第2四半期)の修正について(報告)

本県における環境放射線監視事業の推進にあたり、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成30年2月20日付放監39号で照会をしました標記のことについて、専門員各位からご了承をいただきましたので、評価部会長より監視委員会委員長に監視結果の修正を依頼しました。その後、監視委員会で評価部会修正案のとおりご了承いただきましたことをご報告いたします。

○評価部会修正案

監視委員会評価部会報告書第181報(平成29年度第2四半期)

P.1 長期的変動調査結果(平成29年4月～平成29年9月)について

修正前	修正
福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響により、サーベイ(空間ガンマ線量)の測定結果が事故前の測定値を上回り、積算線量の測定結果も平常の変動幅を上回った。また、同様に、土壌、 飲料水 、海水、海底土などから ¹³⁷ Csなどの放射性核種が検出された。	福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響により、サーベイ(空間ガンマ線量)の測定結果が事故前の測定値を上回り、積算線量の測定結果も平常の変動幅を上回った。また、同様に、土壌、 河川水 、海水、海底土などから ¹³⁷ Csなどの放射性核種が検出された。

以上